

平成29年度土木学会全国大会

国際センター主催 国際ラウンドテーブルミーティング



土木へのICT技術の導入:各国の取組み事例と課題、 将来へのメッセージ

Implementing ICTs within the Construction Industry and Infrastructure Maintenance

近年、ICT (Information Communication Technology)、IoT (Internet of Things) やAI (Artificial Intelligence)、ビッグデータ、ドローン等の技術が急速に発展し、ものづくりの現場から始まり、建築、土木、農業、医療など多くの分野で活用が検討されている。土木分野では、このような最先端技術を導入することにより、労働力、ライフサイクルの情報収集と管理、効率性、生産性、安全性、コスト、品質管理等の課題に対する解決策を見出そうとしている。同時に、女性やシニア等幅広い層の人材確保も期待できる。新技術の導入は、建設現場の働き方にも大きな変革をもたらす可能性がある。

その一方で、新しい技術の導入に伴い、情報の収集・分析や管理システムの開発、法的な整備、建設現場の体制の整備、その技術を使うことのできる技術者の養成が必要不可欠となり、産官学の連携で取り組むことが肝要だろう。

世界各国では、ICT、IoT等の技術導入にあたり、どのような取組みを始めているのか、他分野との連携が図られているのか、課題は何か、各国の取組み事例を紹介し、スムーズな導入に向けた工夫、導入後の土木界・建設産業の方向先について情報や見解を共有する。

プログラム

■ 2017年 9月 11日 (月) 14:00~17:00

13:30 開場

14:00 - 14:07 開会挨拶 大石 久和 第105代 土木学会会長

14:07 - 14:37 基調講演 建山 和由 教授 (立命館大学)

14:37 - 15:50 発表講演 海外協定学協会、土木学会海外分会

※参加予定: 米国土木学会、大韓土木学会、中国土木水利工程学会、バン格拉デッシュ工学会、ネパール工学会、フィリピン工学会、JSCE トルコ分会他

15:50 - 16:00 休憩

16:00 - 16:50 ディスカッション

16:50 - 17:00 総括

◆ 日-英同時通訳有り

※参加者、時間等が変更になる場合がございます。ご了承下さい。

会場

九州大学伊都キャンパス、稲盛財団記念館

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744

「博多」駅からJR筑肥線(姪浜・筑前前原・唐津方面行)にて、「九大研究都市駅」下車。昭和バス「九大総合グラウンド・九大工学部前行」、九大ビッグオレンジにて乗車

主催

公益社団法人 土木学会 国際センター

申込

土木学会ホームページ本部主催行事参加申込サイト

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp> よりお申込み下さい。

FAXでお申し込みの場合は、土木学会本部主催行事参加申込書(PDF)をダウンロードして頂くか、学会誌巻末に掲載されている「本部 行事参加申込用紙」をご使用頂き、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。当行事の参加費は無料です。

定員

100名

お問合せ先: (公社)土木学会 国際センター (担当: 澁谷、荒井)

Tel: 03-3355-3452 / Fax: 03-5379-0125

E-mail: shibuyayukiko@jsce.or.jp

